

31年ぶりの開催！



奥多摩郷土芸能祭



奥多摩郷土芸能祭が、奥多摩郷土芸能実行委員会の主催により、令和6年9月29日に奥氷川神社境内において31年ぶりに開催されました。町には、獅子舞をはじめ20にのぼる郷土芸能があります。郷土芸能は、地域の方々及び保存団体の並々ならぬ努力と熱意により保存、伝承が図られている貴重な文化財です。

このため、郷土芸能団体と行政が協働して郷土芸能の保全を図るため、地区ごとでなく、全町合同でイベントを実施し、郷土芸能の継承を図りました。

当日は延べ約1,000名が観覧され、地域で保存、伝承されてきた貴重な町の郷土芸能17団体（獅子舞12、囃子2、神楽1、車人形1、鹿島踊1）が一堂に会し、各地域の貴重な伝統芸能を披露することにより、未来へ向けて継承し、その魅力を町内外に広く発信しました。

※下記写真の説明文は、各地域の獅子頭や演目等を表記しています。

奥多摩の教育

第238号

発行

奥多摩町教育委員会



町公式ホームページ



白丸獅子



棚沢獅子



日原獅子



境獅子



神庭の神楽



小丹波・南氷川囃子



川野車人形



小河内の鹿島踊



奥氷川神社境内にて
盛大に行われた
奥多摩郷土芸能祭の様子



析久保獅子



川野獅子



大丹波獅子



原獅子



小留浦獅子



川井獅子



大氷川獅子



海沢獅子

学習習慣の定着・学力の向上

小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。言葉の特徴や使い方に関する事項が苦手な傾向にある等、子供たちの実態を把握し、学習習慣の定着や学力向上に向けた授業改善につなげています。

<タブレット端末を活用した学び>

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指し、ICTを活用した授業づくりに励んでいます。全国学力・学習状況調査における「授業でのタブレット端末の活用状況」に関する問いは、東京都・全国の割合を上回っています。学習の充実に向けて、より効果的な活用方法を追究しています。



<小・中学校の連携を図った授業改善>

子供たちの苦手とする学習内容や学習状況の課題を小・中学校の連携を図り、共有し、授業改善につなげています。全国学力・学習状況調査における「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。」の問いに対して、多くの児童・生徒が肯定的な回答をしていることが分かっています。



<校内研究の取組>

子供たちの学びを充実させるために、各校で校内研究に取り組んでいます。授業力向上に向けて、日々研鑽しています。

<古里小> 令和6年度 研究発表校

自分の考えをもち、表現できる児童の育成
『持続可能な社会へ』～子供とつくるまちづくり～

研究発表会

令和7年2月12日(水)

内容(予定)

授業公開

研究発表

講師を招いての講演会



<生活科・総合的な学習の時間>

<氷川小>

自己の学習を調整しながら

主体的に学びを楽しむ児童の育成

～個別最適な学びで実感を伴う授業を通して～

<奥多摩中>

全員支援教育に向けた授業改善

～Wellbeingの考えと授業のUD化～

よりよい生活・運動習慣の定着・体力と運動能力の向上

小・中学生を対象に東京都体力、運動能力、生活・運動習慣等調査を実施しました。令和6年度は東京都より「TOKYO スポーツライフ推進指定地区」の指定を受け、子供たちがより運動に親しみながら運動習慣の定着につなげていけるよう取り組んでいます。

<ボルダリング教室の実施>

クライミングジム「CARAMBA」のご支援を受け、小学校にボルダリングウォールを設置しました。またボルダリング教室も実施し、子供たちは楽しみながら、奥多摩に身近なスポーツを体験することができました。



<アスリートとの交流>

世界でも活躍しているアスリートと交流しながら、「柔道」「タグラグビー」のスポーツ教室を実施しました。また、前向きな気持ちの在り方についてもお話いただきました。体験した子供たちは笑顔を見せながら、運動に親しむ姿が見られました。



他にも、脳機能の向上と神経の伝達機能強化を促すことを目的とした「ライフキネティック」と呼ばれる運動を体験したり、ボールを使った運動の関心をより高めるために「バスケットボール」の教室を開催したりしています。

～今後のよりよい生活・運動習慣の定着に向けて～

体力、運動能力、生活・運動習慣等調査結果より、「運動やスポーツをすることが好き。」「授業以外でも運動やスポーツをもっとしたい。」という設問に対して肯定的な回答をする児童・生徒が多い傾向にあります。

一方で、1日のうち、スマートフォンやタブレット端末の画面を長時間見ている子供も多くいることが分かっています。(学習時間を除く。)学校・家庭・地域が一体となって、よりよい生活・運動習慣の定着に向けて、取り組んでいきたいと考えています。

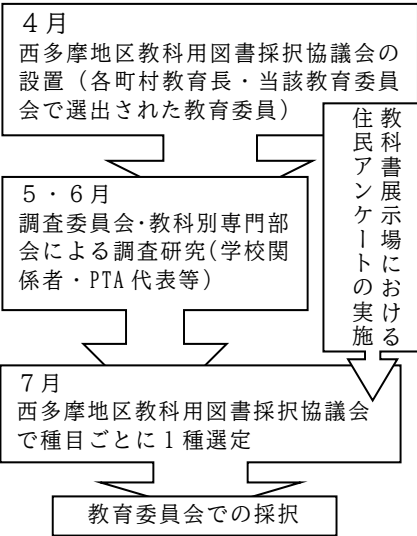
令和7年度使用中学校教科用図書

種目	発行者	教科書名
国語	光村図書	国語
書写	光村図書	中学書写
社会（地理的分野）	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会（歴史的分野）	帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社会（公民的分野）	帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
社会（地図）	帝国書院	中学校社会科地図
数学	東京書籍	新編 新しい数学 MATH CONNECT 数学のつながり
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス
音楽（一般）	教育芸術社	中学生の音楽
音楽（器楽）	教育芸術社	中学生の器楽
美術	光村図書	美術
保健体育	Gakken	新・中学保健体育
技術家庭（技術分野）	教育図書	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する
技術家庭（家庭分野）	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
外国語	開隆堂	Sunshine English
特別の教科 道徳	日本文教出版	中学道徳 あすを生きる

7月25日の教育委員会定例会において、令和7年度使用中学校教科用図書の採択が行われました。

奥多摩町は、瑞穂町、日の出町、檜原村と共同採択となります。

採択までの流れと採択結果は図・表のとおりです。



令和7年度から使用する中学校教科用図書が決まりました

❖教育相談室より❖

ネガティブ・ケイパビリティを育てる

スクールソーシャルワーカー

加藤 祥子

ネガティブ・ケイパビリティという言葉をご存じでしょうか？

精神科医・小説家の^{はきはきほうせい} 常木蓬生氏は、その著書『ネガティブ・

ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力』で、「負の能力、陰性能力、性急に証明や理由を求めずに、不確実さや不思議さ、懐疑的の中にいることができる能力」、端的に言えば、「どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐えうる能力」としている。この概念を作ったのは、イギリスの詩人ジョン・キーツ。弟に宛てた手紙の中で一度だけ使ったとされている。

その後、第二次世界大戦に従事したイギリス人精神科医ウィルフレッド・ビオンが、心理臨床の場でこの概念を重視し広めたとされます。

近年はネット社会の影響か、すぐに結果を求めたり、一つの物事がうまくいかななると簡単に別のものに変えたりする傾向があると思われます。「努力は報われる」「努力が実を結ぶ」とよく言われますが、頑張ったからといって必ずしも結果がでるわけではありません。ネガティブ・ケイパビリティが育っていないと、「できない」ことに耐えられなくなり、自分を顧みることなく、他者攻撃につながることもあります。

ネガティブ・ケイパビリティを培うには、『世の中、すぐに解決できないことがある』『時間がかかってもしようがないことがある』と理解し、急がず、焦らず時の流れに任せてみる。人間関係においても、すぐに結論を求めず、相手に歩調を合わせながら、ゆっくり時間をかけて形成する姿勢が大切です。

親子関係、夫婦関係、友人関係が円滑になる一歩になれば幸いです。

修学旅行へ行ってきました

「SDGsの探求と楽しむことを両立し、最高の思い出をつくらう」というスローガンの下、3年生18名で奈良・京都修学旅行を10月8日から2泊3日で実施しました。

事前学習では「SDGsの視点で巡る古都の旅」というテーマで一人一人見学地を決め調査し、現地での取組を実際に取材しました。

出発前は行程のほとんどが雨天の予報でしたが、新幹線が新大阪駅に着いた頃には晴れ間が見え始め、2日目以降は夏日のような晴天のもと、全行程を終えることができました。

1日目は法隆寺の後、奈良公園へ移動し、興福寺で阿修羅像を始め数々の国宝を見学し、そこから班別行動で地図を駆使して東大寺の大仏殿を目指しました。



2日目は京都の町をSKY観光ガイドの方と一緒に、バスや電車ですれぞれの見学地へ向かいました。ハ

ドな行程の班もありましたが、ガイドさんのアドバイスの下、班員で協力し予定していた見学地を全て回ることができました。

3日目は班別タクシー行動で、運転手の方から、ガイドブックには載っていない話を聞きながら、集合までの半日間、充実した時間を過ごすことができました。

今回の修学旅行では、宿の方、ガイドの方などたくさんの方にお世話になりました。いろいろな方から「よく頑張っていました」「礼儀正しくていいですね。」などお褒めの言葉をいただきました。



オーバーツーリズムの渦中、思うようにいかなかった場面もあったようですが、全員で協力し、それぞれの探求テーマをしっかりと学習してることができました。

何より、たくさんさんの「本物」に直接触れたことで、最高の思い出をつくることのできた3日間でした。奥中展で探求、取材の成果をお見せしたいと思います。

報告 奥多摩中 三輪佳子

小学校交流学习(5年生稲刈り・林業体験・4年生都内移動教室)

5年生交流学习を兼ねた稲刈り体験では、秋の実りを感じながら、鍬を使って、刈り取りました。初めは慎重に行っていたが、慣れてくると手際よく刈り取りました。



林業体験では、インストラクターに教わりながら間伐体験や丸太の皮むき、輪切り体験を行いました。木を倒す作業は頭も使いながら協力しました。のこぎりの使い方も後半は上達し、力強く作業を進めていました。

奥多摩町の産業や農業に触れることで、それぞれの生産者の気持ちを感じる機会になりました。また、学校の枠組みを超え、子供たちが教え合う姿も見られ、合同学習のよさを感じることができました。

報告 氷川小 小島みなみ

古里小学校・氷川小学校4年生が合同で10月16日から17日にかけて、都内移動教室に行ってきました。飛行機の機体工場やガスの科学館見学、浅草仲見世通りの散策、ゆりかもめ・水上バス乗車体験、東京スカイツリー見学など、都内各所を巡りました。人の多さや建物の大きさ、そして土地の使われ方など奥多摩との違いについて肌で感じることができました。

子供たちにとって初めての宿泊行事は、よく見て、よく聞いて、しっかりと学んだ充実した2日間となりました。

報告 古里小 泊谷尚徳



『奥多摩町 教育文化活動奨励者表彰』

この表彰は、町内に在住・在勤する個人または団体が行う教育文化活動を奨励し、今後の活動に期待して隔年で表彰するものです。

11月3日に福祉会館で表彰式を行い、今回は次の方が受賞されました。

【個人】新島勲氏（小丹波）

「チャレンジおくたま」の名称で、放課後の時間を利用した各種の体験教室と、毎年2月に開催される「ひな人形展」を企画し、伝統的文化の継承と発展に貢献された功績が認められ受賞されました。

【団体】

奥多摩バドミントンクラブ

町内の小中学校で長年に渡るバドミントン教室による選手育成及び、奥多摩中学校の部活動での指導で活躍され、奥多摩町のスポーツ振興に貢献された功績が認められ受賞されました。

二十歳を祝う会 御案内

今回、奥多摩町の二十歳を祝う会の参加対象の方は、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれの方です。現在町内にお住まいの方、または町内の小中学校を卒業された方です。対象の方には、ハガキで12月中旬にご案内します。

【日時】令和7年1月13日（祝）

午前10時より

【会場】奥多摩文化会館

【お問合せ】教育課社会教育係

☎（83）2246

教育委員に大串千代氏再任

奥多摩町教育委員の大串千代氏は、10月1日で任期満了になることから、令和6年第3回定例町議会において同意を得て10月1日付で再任されました。

【奥多摩町教育委員の構成表】

職 名	氏 名	任 期
教育長	野崎喜久美	自 R 4.10. 1 至 R 7. 9.30
教育長 職務代理者	原島 幹典	自 R 3.10. 1 至 R 7. 9.30
委 員	小峰 一郎	自 R 4.10. 7 至 R 8.10. 6
委 員	武本 正明	自 R 5.10. 1 至 R 9. 9.30
委 員	大串 千代	自 R 6.10. 1 至 R 10. 9.30

区域外就学及び 指定校変更について

各児童生徒に通学区域の就学すべき学校を指定しておりますが、指定校以外への就学を希望する場合は教育委員会に事前に関合わせのうえ、必要書類を添えて申請してください。（※指定校変更は小学校のみです。）申請ができるのは主に次の理由です。

○転居予定

○身体的・家庭的理由 等

就学援助費・新入学児童生徒 学用品費の入学前支給について

経済的な理由によりお子さんの就学費の支出が困難なご家庭に対し、学校でかかる費用の一部を援助しています。「新入学児童生徒学用品費」について、入学前の3月に支給を実施します。支援を希望される方は、要件を確認のうえ必要書類を添えて申請してください。

【問合せ先】

申請書等、詳細については、ホームページをご覧ください。
教育課学務係（83）2246

おくたまコラム

聞く・みる

「図書館は自分にとって先生」

教育委員 小峰 一郎

「となりのためきがだいきらい。お月さまが、やつつけてくれると言うので、うさぎは、お月さまとある約束をしました。その約束とは？ そしてーか月後、うさぎは・・・」

せな けいこ作・絵「となりのためき」という絵本です。

人はだれでも気の合わない人、苦手な人がいると思います。多様性の時代です。そういう人がいてもいいでしょう。でも、見方を変えてみたら・・・。

皆さん図書館を利用していますか？私は奥多摩の歴史に興味があり、小河内ダム建設に関する資料や、奥多摩の石灰石産業について学習しています。また、今熱中しているコケや野草の名前を調べたりして、図書館は私にとっていろいろなことを教えてくれる先生です。みなさんも図書館に行ってみませんか？

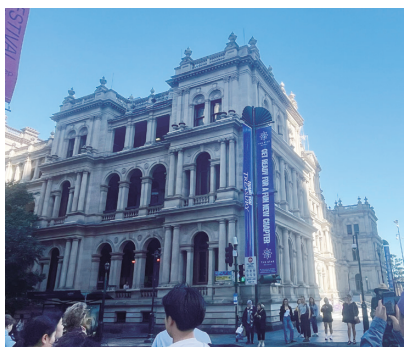


第31回海外派遣事業実施(7月27日～8月7日)

今年で31回目となる海外派遣事業(中学生等)で、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州・バイロンベイに13日間、中学生11名を派遣しました。

この事業は、ホームステイ体験や現地の生徒との交流、授業への参加を行うことで、海外の伝統や生活及び文化を肌で感じ取り、国際感覚をもった青少年を育成することを目的としています。

帰国後も海外派遣を通して体験したことを生かし、町のイベント・学校・地域において活躍することを期待しています。



多幸湾での集合写真



赤崎海岸での海水浴



今年度は小学生31名、中学生8名、ボランティア9名他、総勢50名が参加し、竹芝桟橋から大型客船で出発しました。翌日の朝に神津島へ到着し、世界に一つだけの黒曜石ストラップ作り体験をし、午後は多幸湾丸島海水浴場で魚や貝を探すなど、神津島の自然を学びました。翌日は赤崎海岸で神津島村の子供たちと合流し、お互いに「町と村」の魅力を教え合うなど、交流を深めることができました。伊豆七島の青い海と、島の雄大な自然の中で伸び伸びと体験活動を終えることができました。セミナーでは中学生が小学生を見守り、活動班や各宿舎のリーダーとしても活躍しており、小学生は、その中学生の姿から見て学ぶことで、今後の日常生活の中で生かしていったほしいと思います。

神津島洋上セミナー実施(8月18日～21日)